

## 湘南の砂草を植えよう

NPO 法人ゆいさんが行っている海浜植物植栽会に、今年度も社会奉仕委員会の継続事業として参加しました。今年度は9月10日(日)に、先ず除草作業を行い10月8日(日)の9:00~11:00に植栽事業を行いました。今年は茅ヶ崎中央RCだけでなく、他の団体との共同作業となりました。

当日は除草作業の時と同じように天候に恵まれましたが、やはり気温が上昇し過酷な作業となりましたが、茅ヶ崎中央RCのメンバー18名お子さん1名と、NPO 法人ゆいのメンバー13名(日大研究部の小島先生と生徒4名含む)、共催者の藤沢市民活動推進機構2名、協力者の日本NPOセンター1人、NPO 法人茅ヶ崎海岸づくり推進機構2名、協賛の損保ジャパン日本興亜から14名、茅ヶ崎市役所から1名、市議員を含む一般参加者が8名と分かっている範囲でも60名の参加者が、ハマヒルガオ604株、ハマボウフウ100株、ピロードテンツキ(一鉢平均12株入りと28株入りトレー)で少なくとも1200株、ハマゴウ20株以上、合わせて1900株を超える植栽に汗だくになりながらご協力頂き、受付が始まる前の打ち合わせでは、11時には終わらないかも知れないと言っておりましたが、大勢の皆様参加で何とか11時には植栽を終えることができました。

作業の初めにゆいの荒井代表の挨拶があり、当クラブの峯山会長以下各団体の代表者が挨拶を行った後スタートし、先ずはサイクリングロード北側にゆいの方が用意しておいた苗が入ったケースを植栽場所へ移す作業を行い、一段落したところで参加者全員の記念写真を撮りましたが、その写真用にと地区ののぼり旗と財団100周年の横断幕を渡邊AGのところへ取りに伺うと申しましたら、渡邊AGも参加するので持って行くとのことで、お待ちしておりましたがなかなかお見えにならず心配しておりましたが、撮影ぎりぎりに見えて何とか記念写真に間に合いました。渡邊AGは別の行事に出席することになり参加できませんでしたが写真撮影には参加できました。

その後荒井代表から植栽作業のやり方についての説明がありましたが、今年は前日に雨が降りました関係で昨年と違い苗が入った牛乳パックの底を取るだけで埋めるのではなく、パック自体を取って苗を直接埋めることになりました。そこで苗を植える者と破ったパックをビニール袋で回収する者とに分かれ作業が始まりましたが、作業が始まって間もなく休憩に入りました、当日はかなり暑かったのと年配者や子供さんも居るので短時間の間隔で休憩をして、水分補給をすることを打ち合わせで確認しておりました。それでも前述のように大勢の参加者のおかげで時間内に作業を終えることができました。参加者の皆様本当にご苦勞様でしたありがとうございます。

植えた草は再来年の春ごろに生え揃い、ハマヒルガオは花を咲かせるのではとのことで楽しみです。

記念写真



植栽後

